

日本初記録の小型の鉢クラゲ *Atorella vanhoeffeni* (刺胞動物門, 鉢クラゲ綱, 冠クラゲ目)

久保田 信

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459
京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所;
e-mail: shkubota@medusanpolyp.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

First record of a small scyphomedusa, *Atorella vanhoeffeni* (Cnidaria, Scyphozoa, Coronatae), in Japan

Shin Kubota

Seto Marine Biological Laboratory, Field Science Education and Research Center,
Kyoto University, 459 Shirahama, Nishimuro, Wakayama, 649-2211 Japan;
e-mail: shkubota@medusanpolyp.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

Abstract. A well-developed medusa of *Atorella vanhoeffeni* Bigelow, 1909 (Cnidaria, Scyphozoa, Coronatae) was collected on November 11, 1995, as the second record of this genus in Japanese waters. Based on this specimen, a description is provided along with photographs. A morphological comparison is made between the present species and *Atorella japonica* Kawaguti and Matsuno, 1981 from the Sea of Japan near Oki Island, Shimane Prefecture, Japan.

Key words: Morphology, medusa, polyp, description, Japan.

(要約)

日本初記録の *Atorella vanhoeffeni* Bigelow, 1909 (刺胞動物門, 鉢虫綱, 冠クラゲ目) のクラゲを, これまでただ1個体だけであるが南西諸島から生きたまま採取できたので, 写真撮影し形態を記載した. 4個の黄色の生殖巣を形成した本個体は完全には成熟しておらず性の判別はできなかった. 本種を, 成熟個体が不明だがポリプと遊離したてで生殖巣なしのエフィラが記載されている島根県隠岐島産の同属既知種 *Atorella japonica* Kawaguti and Matsuno, 1981 と比較した.

はじめに

鉢クラゲ綱冠クラゲ目 *Atorella* 属は, ただ1種 *Atorella japonica* Kawaguti and Matsuno, 1981 のみがわが国から知られている (Kawaguti and Matsuno, 1981). 今回, 長年の採集努力 (Kubota, 2006; 久保田・中口・郷, 2000) にもかかわらずごく少数にとどまったものの, わが国から第2番目の *Atorella* 属の種が生きたまま採取され

たのでその形態について報告する.

材料と方法

生殖巣が形成された小型のクラゲ1個体を, 筆者は1995年11月11日に加計呂麻島の南東部海岸の水深数m地点でシュノーケリング中に目視発見し, 小型容器で採取した. それ以降, 10年あまりにわたる南西諸島での筆者の調査

Kubota, 2006 参照) では再発見できなかった。形態の観察は双眼実体顕微鏡で行い、写真撮影はマクロレンズをつけたカメラで実施した。

クラゲの記載

Atorella vanhoeffeni Bigelow, 1909
(Figs 1-2)

Atorella vanhoeffeni Bigelow, 1909: 30, pl. 1, fig. 2,
pl. 11, figs 1-8, pl. 12, figs 2-4; Mayer, 1910: 568;
Kramp, 1961: 313.

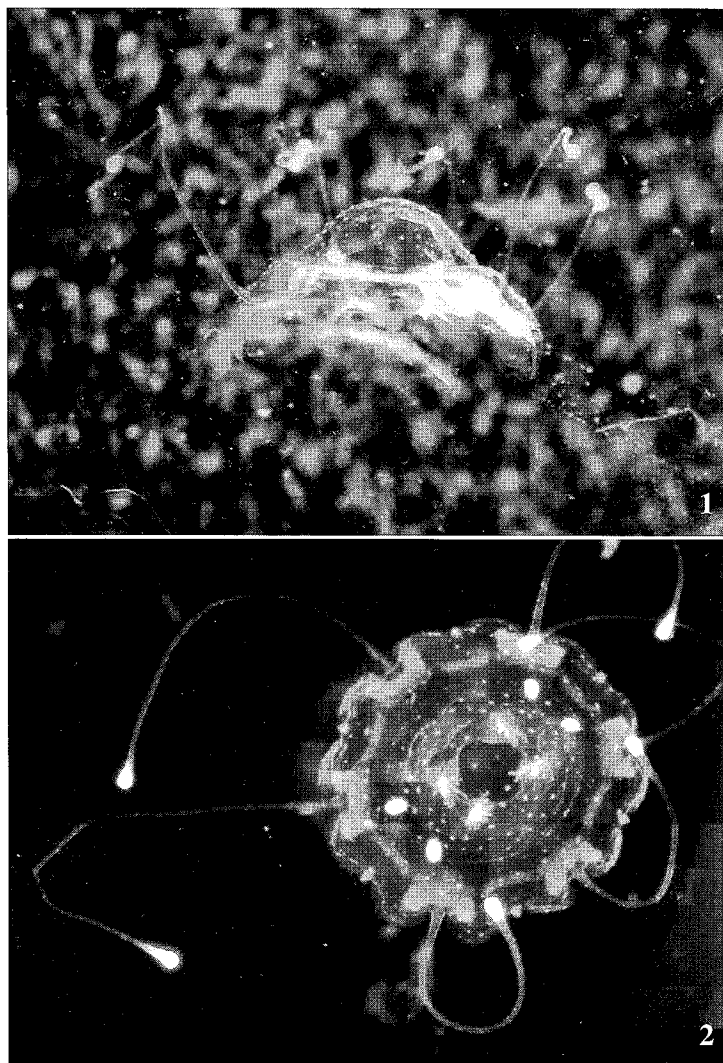


図1. 日本初記録の *Atorella vanhoeffeni* のクラゲ (側面図). 採集直後の生体を撮影.
Fig. 1. Medusa of *Atorella vanhoeffeni* (side view) first record from Japan, photographed alive immediately after collection.
図2. 日本初記録の *Atorella vanhoeffeni* のクラゲ. ホルマリン海水で固定後に撮影.
Fig. 2. Medusa of *Atorella vanhoeffeni* first record from Japan, photographed after preservation in seawater-formalin.

謝 辞

広島大学豊潮丸での研究調査中に本個体を発見できた。豊潮丸の乗組員の皆様、とりわけ郷 秋雄船長と中口和光氏、その航海のチーフだった大塚 攻博士に深謝致します。

引用文献

本標本は傘が平たく、体の大半が無色で直径数mm程度。傘の中央部が円丘状に盛り上がり、下方の傘周辺部位を分かち溝が一周する(図1)。外傘には刺胞を備えた多数の瘤が散在する。楕円体の生殖巣(成熟しておらず性の判別は不能)は4個あり黄色を呈する。傘縁には、縁弁が12枚、感覚器が6個、そして感覚器と互い違いに存在する6本の触手が存在する。触手はすべて等長で、傘の直径ほどの長さに伸張り、その先端は生殖巣と同様な形状と色で、まるくふくらむ。胃糸は4群ある。口は傘の中央に開き、単純な4口唇をもつのみで、口腕には発達しない(図2)。

本個体はエフィラクラゲ類(冠クラゲ目)と一見すると外見が類似するものの、それより小型で生殖巣や触手の数が少ないので区別できる。

本種は、これまで太平洋東岸のパナマ沖の表層から3個体が発見されたのみで、傘径は7mm以下しかない小型の鉢クラゲである(Bigelow, 1909; Mayer, 1910; Kramp, 1961)。今回の発見により太平洋西岸にも存在することがわかり、この海域からの初記録となる。

一方、本種のポリプとされるものが知られており、単体である(Werner, 1966)。同様に島根県隠岐産の*A. japonica*も単体で、それより遊離したての未成熟クラゲが知られている(Kawaguti and Matuno, 1981)。しかし、*A. japonica*がどのような成熟クラゲになるのか不明なままである。これら*Atorella*属の日本産2種は、ポリプの触手数やエフィラの生産数などに相違があるとともに遊離したてのエフィラでも触手数や胃糸の数で異なっている(Kawaguti and Matuno, 1981)。

- Bigelow, H. B., 1909. Rep. Sci. Res. Exped. Eastern Tropical Pacific U. S. Fish Comm. St 'Albatross' 1904-1905. XVI. The Medusae. *Mem. Mus. comp. Zool. Harv.*, **37**: 1-243, pls 1-48.
- Kawaguti, S. and Matsuno, A., 1981. A new species of the Coronatae, Scyphozoa, from the Japan Sea; *Atorella japonica* n. sp. *Bull. Kawasaki paramed. Coll.*, (1): 15-21.
- Kramp, P. L., 1961. Synopsis of the medusae of the world. *J. mar. biol. Ass. U. K.*, **40**: 7-469.
- Kubota, S., 2006. Hydrozoan fauna of the Nansei Islands. *Proceedings of 10th international coral Reef Symposium*: 197-201.
- 久保田信・中口和光・郷 秋雄, 2000. 豊潮丸での南西諸島産ヒドロ虫類相の調査. くろしお, (19): 18-23.
- Mayer, A. G., 1910. Scyphomedusae. *Medusae of the World*, **3**: 499-735, pls 56-76. Carnegie Inst., Washington, USA.
- Werner, B., 1966. Morphologie, Systematik und Lebensgeschichte von *Stephanoscyphus* (Scyphozoa, Coronatae) sowie seine Bedeutung für die Evolution der Scyphozoa. *Zool. Anz. (Suppl.)*, **30**: 297-319.

(2008年9月6日 受理)